

## 50代・60代の働き方に関する意識調査

ダイヤ財団は、明治安田生活福祉研究所と共同で、現役正職員（50代、60代前半の男女）と定年経験者（60代男性）の合計6,250人を対象としたWEB調査を2018年2月に実施しました。

60歳定年が日本企業の8割を占めるなか、法改正により60歳の定年後も希望者全員を65歳まで雇用することが義務付けられました。しかし、企業の対応策では嘱託や契約社員として再雇用する継続雇用制度の導入が8割と最も多く、給与減でモチベーションが低下するという問題の指摘も見られます。

そこで、中高年の収入が減る節目のうち「役職定年」や「60歳定年での再雇用」について経験の有無やそれに伴う賃金や働き方の変化、そして定年制などについて調査しました。

調査結果の一部を本誌4～7ページで紹介していますが、今後ホームページでも発信していく予定です。

## ダイヤ財団新書38を発行

### 100歳までのライフプラン

#### ～将来の経済リスクに今から備える～（無料）

昨年11月に開催した財団シンポジウムの講演録です。本シンポジウムでは、漠然と感じがちな老後の経済面の不安やリスクを具体化し、それに備える行動に結び付けることを試みました。

第1章：基調講演「ライフプラン3.0と新しい資産形成の考え方」千葉商科大学教授 伊藤宏一氏

第2章：パネルディスカッション「100歳までのライフプラン～将来の経済リスクに今から備える～」

ご希望の方は財団までご連絡ください。

なお、電子書籍「ダイヤ財団ライブラリー」(右のQRコード)でもお読みいただけます。



## 講演など

澤岡詩野が以下のとおり講演を実施。

- ・2018年2月14日（水）埼玉県鶴ヶ島市地域づくり講座：「アクティブシニアが変える地域の未来～地元『第3のイバショ』はありますか？～」。
- ・同2月16日（金）神奈川県茅ヶ崎市役所地域活動入門講座：「セカンドトラックからはじめる3つのイバショ～地元『イバショ』はありますか？～」。
- ・同2月28日（水）栃木県桐生市社会福祉協議会主催福祉のまちづくりセミナー：「イバショづくりとゆるやかな見守り～『できること』『楽しく』『長く』～」。
- ・同3月2日（金）神奈川県横浜市戸塚区汲沢地域ケアプラザ介護予防リーダー交流会：「いつまでも豊かに集える『居場所』づくり～地元・ゆるやか・プロダクティブ～」。
- ・同3月8日（木）神奈川県横浜市泉区地域福祉計画シンポジウム：「道草したっていいじゃない 人生のゆるやかな歩き方」（基調講演）。
- ・同3月10日（土）埼玉県朝霞市地域振興センター主催 アクティブシニア講座：「人生100年を豊かにする居場所学『居場所』改め『イバショ』」。
- ・同3月11日（日）神奈川県横浜市都筑区すみれが丘自治会まちづくり研究会：「すみれが丘で豊かに歳を重ねるには～『第3の居場所』を考える？～」(朝日新聞神奈川版でも紹介)。

2018年3月8日（木）フジテレビ「ノンストップ」にシニアの就労に関する特集で澤岡がコメンテーターとして出演。

## 寄稿

森義博：「統計資料に見る超高齢社会の現状とライフプラン」NPO 法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会『FPジャーナル』2018年4月号（誌上講座）

## 表紙写真について一言「小湊鉄道の里山トロッコ列車」

小湊鉄道線（こみなとてつどうせん）は、千葉県市原市の五井駅から養老溪谷を経て夷隅郡大多喜町の上総中野駅まで房総半島を横断するように走っています。最近では蒸気機関車の型をしたディーゼル機関車に連結した車両（乗車予約必要）もあり、従来に増して鉄道ファンや写真愛好家が訪れているようです。ただ、機関車を前後に入れ替える駅がないので、写真をよく見ると煙が右にたなびいていますが、実は機関車が車両を押し走っているところ（大滝方面から五井方面）に向かっています。おもしろいですね。

※ PHOTO 448 SCHOOL：千葉県我孫子市で写真愛好家を指導している吉羽健二郎夫妻の名前一よしば（448）-に因んでいます。

発行者 公益財団法人 **ダイヤ高齢社会研究財団**

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-34-5 VERDE VISTA 新宿御苑  
TEL:03-5919-1631 FAX:03-5919-1641  
E-mail:info@dia.or.jp http://www.dia.or.jp

編集人：鈴木章一 デザイン・印刷：橋本確文堂（三菱製紙ホワイトニューVマット） 発行：2018.4.25 No.93